

気候情報

2011年12月の日本の天候

- 北日本から西日本にかけて、月の後半を中心に寒気の影響を強く受け、気温が低かった
- 東・西日本日本海側、沖縄・奄美は、日照時間がかかなり少なかった

12月の天気概況

月の後半を中心に断続的に強い寒気が流れ込んだため北日本から西日本にかけて月平均気温が低く、冬型の気圧配置が強まった下旬には日本海側で大雪となった。北日本ではおおむね月を通して平年以上に寒気の影響を受けたため、気温は上・中・下旬のいずれも低くなり、日本海側では降雪量が多かった。東・西日本日本海側では、下旬に加えて上旬も寒気や気圧の谷の影響で曇りや雨あるいは雪の日が多く、月間日照時間がかかなり少なかった。一方、北日本から西日本にかけての太平洋側では、月のはじめは低気圧や前線の影響で曇りや雨の日が多かったが、中頃以降は冬型の気圧配置が卓越して晴れの日が多かった。沖縄・奄美は月を通して寒気や気圧の谷の影響で曇りや雨の日が多く、月間日照時間がかかなり少なかった。

上旬：日本付近を気圧の谷が2回通過し、全国的に数日の周期で天気が変わった。冬型の気圧配置が長続きせず、この時期としては低気圧や前線の影響を受けることが多かったため、東日本以西では顕著な寡照になった。特に沖縄・奄美では、12月上旬としては旬間日照時間が1961年以降で最も少なかった。3日には発達しながら本州付近を通過した低気圧により、北日本から西日本にかけて大雨となったところもあった。北日本は旬のはじめと終わりに強い寒気が流れ込んだため気温が低くなった一方、西日本は旬の前半を中心に気温が高かった。

中旬：冬型の気圧配置の日が多く、全国的に寒気の影響を受けた。北日本から西日本にかけての日本海側では気圧の谷や寒気の影響で雨や雪あるいは曇りの日が多く、後半には大雨となったところもあった。一方、太平洋側は晴れの日が多く、特に東日本太平洋側では、12月中旬としては旬間日照時間が1961年以降で最も多くなった。沖縄・奄美では、気圧の谷や大陸の高気圧の張り出しに伴う寒気の影響で曇りや雨の日が多かった。

下旬：中頃を中心に冬型の気圧配置が強まり、全国的に寒気の影響を大きく受けた。北日本から西日本にかけての日本海側では強い寒気の影響で雪の日が多く、大雪となったところが多かった。一方、太平洋側

は気圧の谷が通過した旬のはじめを除いて晴れの日が多かったが、強い寒気の影響で一部の平野部では雪が降り積ったところもあった。沖縄・奄美は、寒気や気圧の谷の影響で曇りや雨の日が多かった。

12月の気候統計

月平均気温：北日本から西日本にかけて低く、北日本では平年を1℃以上下回った。沖縄・奄美では平年並だった。

月降水量：北・東日本日本海側が多かった。北・東日本太平洋側、西日本、沖縄・奄美では平年並だった。

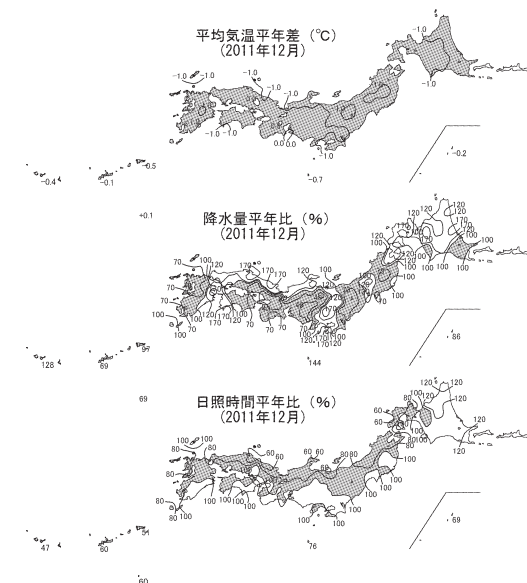
月間日照時間：東・西日本日本海側、沖縄・奄美でかなり少なく、北日本日本海側で少なかった。北日本から西日本にかけての太平洋側では平年並だった。

(気象庁観測部統計室)

12月の記録 (1位更新のみ)

- ・月降水量多い方から (mm)
岩見沢 241.0 三宅島 344.0 境 332.0
- ・月間日照時間少ない方から (時間)
与那国島 12.4 西表島 29.3
- ・降雪の深さ月合計値多い方から (cm)
紋別 134
- ・月最深積雪大きい方から (cm)
岩見沢 129

2011年12月の平年差 (比) 図



注) 陰影の部分は、平年より低い (少ない) 地域を示す。